

| | | | |
|-------------|---|---------|-------|
| 法人（事業所）理念 | 私たちは、【常に最新・最幸のサービスを創造、提供し続け、地域に根ざした企業活動を通じて、社会・経済に貢献する】企業を目指します。 | | |
| 支援方針 | 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が配置されており、療育の中にリハビリテーションを取り入れています。利用児を個別に評価して、家族支援、移行支援、関係機関連携を行い個々に合わせた適切な支援を行っています。 | | |
| 営業時間 | 9 時 0 分から 18 時 0 分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | |
| 健康・生活 | <p><健康状態の維持・改善>・健康状態の把握と対応、リハビリテーションの実施</p> <p><生活習慣や生活リズムの形成>・摂食訓練・衣服の調整・自助具の活用</p> <p><基本的な生活スキルの獲得>・日常生活動作訓練・構造化等による生活環境の調整・医療的ケア児への適切なケアの実施</p> | | |
| 運動・感覚 | <p><姿勢と運動・動作の基本的技能の向上>・姿勢調整、上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力・バランスの維持強化を図る。<姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用>個々に適した補助用具の活用や座位保持装置<身体能力の向上>・立位訓練、歩行、歩行器による移動訓練。<保有する感覚の活用>・感覚統合療法実施。<感覚の補完・感覚の特性への対応>・感覚の状況に合わせた環境調整</p> | | |
| 認知・行動 | <p><認知の特性についての理解と対応>・認知の特性を理解して適切に処理できるように支援。<空間・時間・数等の概念形成の習得>・感覚の活用や認知機能の発達、認知や行動の手がかりとなる概念の形成。数量、大小、色等の習得、知覚から行動への認知過程の発達。認知の偏りの対応。<行動障害への予防及び対応>・応用行動分析を用い、行動の理解と学習を支援。</p> | | |
| 本人支援 | <p><コミュニケーションの基礎的能力の向上>・言語、非言語コミュニケーション能力をつける・構音訓練の実施<言語の受容と表出の支援>・言葉以外に文字や記号、絵、写真等を用いて理解と言語を受容して表出する支援。<言語の形成と活用>・具体的な事物や体験と言葉を結びつけて自発的な発声と、体系的な言語を身につける。<人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得>・人との相互作用を通して共同注意の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援。<コミュニケーションの選択と活用>・指差し、身振り、サイン等の活用・音声、文字等のコミュニケーション手段の活用・コミュニケーション機器の活用<状況に応じたコミュニケーションの活用>・場や状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるように支援。<読み書きの向上>・障害の特性に合わせた読み書き能力の向上</p> | | |
| 人間関係 社会性 | <p><アタッチメント（愛着行動）の形成>・人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援。<懐疑行動の支援>遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。<感覚運動遊びから象徴遊びへの支援>感覚機能を使った遊びや運動機能を動かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。<一人遊びから協同遊びへの支援>周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状況から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。<自己の理解と行動コントロールのための支援>大人を介在して自分のことができること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。<集団への参加への支援>集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援。SST実施。</p> | | |
| 家族支援 | <p><アタッチメント（愛着）の形成>・子どもとの信頼関係を育み、家族や周囲との安定した関係性を形成。<家族からの相談に関する適切な助言>・子育て困りごとの相談援助・子どもとの関わり方の助言、提案。・保護者同士の交流機会の提供。（子育てカフェの開催）<障害の特性に配慮した家庭環境の整備>・子どもが発達状況や特性の理解に向けた相談援助。・家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供。ペアレントトレーニングの実施</p> | | |
| 移行支援 | <p><園・学校への移行支援、ライフスキルの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備>・具体的な移行や将来的な移行を見据えた子どもの発達の評価と支援。・移行先との支援方針、支援内容の共有や、子どもの状態と親の意向、支援方法についての伝達。・家族への情報提供。・移行先の選択についての本人や家族への相談援助。</p> | | |
| 地域支援・地域連携 | <p><通所することにも関わらず地域の関係者・関係機関と連携した支援>・ことが通う園、通う予定の学校や在学中の学校、字重との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、個別支援計画書の作成又は見直しに関する会議の開催。こどもが利用できる障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所における連携。</p> | | |
| 主な行事等 | <p>・祝日は地域に出かけて、地域で暮らす他の子どもとの交流や体験学習を行う。例（買い物実践、博物館、科学館、自然と触れ合う活動、地域の講師による作品作りなど）・季節ごとに壁面の制作。・会社全体で地域に向けてフェス開催・子育てカフェ開催</p> | | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------------------|----|-------------|
| ○事業所名 | リハビリセンターありんこキッズ（児童発達支援事業所） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 7年 3月 3日 | | ～ 7年 3月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 45 | (回答者数) 34 |
| ○従業員評価実施期間 | 7年 3月 3日 | | ～ 7年 3月 31日 |
| ○従業員評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 7年 4月 1日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 生活空間の広いスペースがあり、鬼ごっこなど広い空間で体を十分に動かすことができる。 | 部屋を活動内容に合わせて仕切りをして安全に配慮したり、視覚刺激を減らす工夫をしている。 同じ空間になった子ども同士で小集団活動や、個室があるのでその都度個別活動に切り替えることができる。 | 活動前にスタッフ間で使う部屋の打ち合わせをして、さらに安全に快適に部屋を遣えるようにする |
| 2 | 理学療法士等のリハビリスタッフを配置している。 各専門職がアセスメントを行い、的確に支援を実施している。 | 研修の機会を作り、支援の質を上げるように参加を促している。 多職種が連携が取れるように日頃から情報共有のコミュニケーションが取りやすい雰囲気である。 | より多くのスタッフが参加しやすいようなオンライン研修の案内をして参加を促す。 |
| 3 | 子育てカフェやペアレントトレーニングを実施して家族支援を行っている。 | 開催の案内をありんこLINEでその都度お知らせをしている。 | LINEだけでなく、お手紙や口頭でも参加の呼びかけをしていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | きょうだい支援 | 利用が同じ時間帯の兄弟同士の関わりはあるが限られている。療育中なので兄弟同士活動するスペースは限られている。 | 保護者面談等できょうだいについての話題にも触れて、アドバイスをしたり、子育てカフェの中でも取り上げていく |
| 2 | 事業所の取り組みを伝える | ホームページでの活動の掲載が現在ないので、ありんこを利用する保護者向けのLINEアカウントを作っている。ただ、全員登録していないことや閲覧しているかの把握が難しい。 | 保護者の方のありんこLINEの登録を確認をしていく |
| 3 | | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | リハビリセンターありんこキッズ (児童発達支援事業所) | | 公表日 | | 7年 4月 1日 | |
|---------|--------|---|-----|---------|---|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | 1 | | ・面談等で個室を使用すると、足りないと感じる時がある。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 2 | 3 | | ・送迎が増えたため、人手不足を感じている。 ・やむを得ず職員が急に休みになった時、人員が少ない時がある。 ・職員の休みが重なると、ぎりぎりですべて回していく印象がある。 ・送迎時、十分配慮しているが、より安全である為に送迎時の人員配置をより手厚くしたい。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | 0 | ・玩具などは倉庫に入れてシンプルな環境で気が逸れない工夫をしている。 | ・おもちゃや遊具を片付けるスペースがもう少し広いと良いと思う。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | 0 | ・備品等の消毒を随時行っている。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | 0 | ・個室が3か所ある。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 4 | 1 | ・管理者と話し合いの機会がある。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 0 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | ・管理者と話し合いの機会がある。 | ・把握していても改善には至っていない。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 5 | 0 | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | 0 | ・伝達研修やオンライン研修、勉強会を実施している。 ・実際に研修に向きとでも参考になり、遊び道具を工夫して作ることができた。 | | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | 0 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 5 | 0 | ・定期的のアセスメントやニーズを確認している。 | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | 0 | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|---|--|
| 適切な支援の提供 | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | 0 | ・計画書の内容を職員間で周知できる体制がある。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | 0 | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | 0 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | 0 | ・担当者同士で活動内容を話し合っている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | 0 | ・マンネリ化しない様に個々のニーズや嗜好を取り入れている。 ・いろいろな活動を組み合わせるようにしている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | 0 | ・社会性が必要な場合はペアやグループ活動をしている。 ・当日の子どもの状態に合わせて変更したり、個別・集団を考えている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | 0 | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 0 | ・担当者間で振り返り確認している。 ・必ずしも毎日できていないが、違う日や時間がある時にするようにしている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | 0 | ・全スタッフ実行している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | 0 | | |
| 関係機関や保護 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | 0 | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | 0 | ・保育園等を訪問したり、園から事業所の子どもの様子を見学してもらっている。 | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 5 | 0 | ・特に移行や終了する場合は園と情報共有している。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|---|--|---|---|-------------------|---|
| 保護者との連携 | 30 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | 4 | 1 | | |
| | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 4 | | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | 0 | | ・面談や毎月子どもの様子をおたより(通信)や連絡ノートで共有している。 ・子どもの様子を通して話し合える。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | 0 | | ・ペアレントトレーニング実施。 | |
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | 0 | | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | 0 | | ・子どもと保護者の意思を面談等で確認している。 |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 5 | 0 | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | 0 | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 1 | | ・子育てカフェの開催や利用時間にきょうだい同士の交流がある。 ・父母の会はないが、こそだてカフェを設け交流の場になっている。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | 0 | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | 0 | | ・通信の発行やビジネスLINEを利用している。 ・している。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | 0 | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | 0 | | ・保護者によっては、文書ではなく必ず対面で対応している。 |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 5 | 0 | | ・会社全体の取り組みでフェスを開催して地域にも案内している。 |
| 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | 0 | | ・年間計画に沿って実施している。 | |
| 46 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 5 | 0 | | ・年間の計画に沿って実施している。 | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|-------------------|--|
| 非常時等の対応 | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | 0 | → 複数のスタッフで確認している。 | |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | 0 | | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | 0 | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | 0 | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | 0 | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | 0 | | |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 5 | 0 | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| | |
|------|----------------------------|
| 事業所名 | リハビリセンターありんこキッズ（児童発達支援事業所） |
|------|----------------------------|

公表日 7 年 4 月 1 日

利用児童数

45

回収数

34

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえ | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|-------------|-----|--|---|--|
| | | | | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 34 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）大きなトランポリン等あり、自由に動けるようになっていてすごいと思います。 ・（はい）部屋がたくさんあって良いと思います。 ・（はい）走りまわれるスペースがあっていいです。 | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 32 | | 1 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）1人に1人ついているので十分です。 ・（はい）2人の先生に相手してもらってとても嬉しそうです。 ・（いいえ）言語や運動の先生がお休みされていた場合、その日は支援が受けられない。 | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 34 | | | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 34 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）子どもに合わせた空間になっている。 | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 33 | 1 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）子どもの事を理解して支援をしてくれています。 ・（はい）専門の方がついていて安心です。 ・（はい）お箸等が使えるようになり、とても喜んでます。 | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 33 | | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）苦手とする所が少しずつ改善されていくといいです。 | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 33 | | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）面談や日々の支援を通して課題を明確にして下さっている。 ・（はい）特性を理解して作っていただいています。 | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 33 | | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）子ども共々お世話になっています。 | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 33 | 1 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）子供の気持ちを受け止めてもらえて安心してまかせられています。 | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 33 | | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）色々な遊びを提案してもらっています。 | |
| | 11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。 | 21 | 3 | 3 | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）直接の交流は無くても、そばで頑張るお友達の様子が、我が子のパワになります。 ・（わからない）保育園にはつしが入っているので連携してもらっています。 | 会社の取り組みでフェスを開催して子どもブースで地域と関わる機会を作っている。 |
| 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 32 | 2 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）きちんとして下さいました。 | | |
| 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 33 | 1 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・（はい）細かく説明されました。 | | |
| 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 24 | 3 | 1 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・（わからない）利用したことがないので。 ・（はい）仕事の関係でいけないのが残念です。 | ペアレントトレーニングを実施しているのでさらに周知できるようにする。 | |

| | | | | | | | | |
|----------|----------------------------|--|----|---|---|----|---|---|
| 保護者への説明等 | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 33 | 1 | | | ・（はい）よく理解して下さっています。 | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 33 | 1 | | | ・（はい）アドバイスも頂き、助かっています。 ・（はい）保育園のもめごとの相談にのってもらっています。 | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 32 | 1 | | 1 | ・（はい）すごく安心して通えています。 | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 20 | 3 | 2 | 9 | ・（はい）平日なので参加出来ませんが、活動はされているのを知っています。父母会がなく助かっています。 ・（はい）行けていませんが、機会があれば参加したいです。 ・（わからない）利用したことがないので。 ・（わからない）きょうだい向けのイベントなどがあれば行ってみたいですが。 | 保護者支援の一つである子育てカフェのさらなる周知をする。 会社全体の取り組みとして、フェスの子どもブースで地域交流の機会がある。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 30 | 1 | | 3 | ・（はい）すごく親身に話を聞いてもらっています。 | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 32 | | | 2 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 24 | 1 | 1 | 8 | ・（はい）ラインで連絡がきます。 | 保護者の方へのLINEの登録を促す |
| 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 31 | 1 | | 2 | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 22 | 1 | 1 | 10 | | 保護者の方へのLINEの登録を促す |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 25 | | 1 | 8 | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 28 | 1 | | 5 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 26 | | | 8 | ・（わからない）まだ何もないので。 | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 33 | | | 1 | ・（はい）心待ちにしています。 | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 33 | | | 1 | ・（はい）自分が行く日じゃない時でも、ありんこに持って行ってるカバンを保育園に持って行くほど楽しみにしています。 ・（はい）毎回とても楽しみに通所しています。 ・（はい）「今日はありんこさんだよ」と伝えると喜んで朝の準備をします。スムーズに準備してくれるので早いです。毎日「明日ありんこ？」と聞かれます。 ・（はい）「明日ありんこ」って言うとなんでも言う事を聞くくらい楽しみです。 ・（はい）とても楽しみにしています。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 32 | 1 | | 1 | ・（はい）とても満足しています。 ・（はい）決められた時間の中で子どもがやりたい事を取り入れながら、楽しく支援を受けることができています。 ・（はい）通えて本当に良かったです。 | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------------------|--------|-----------|
| ○事業所名 | リハビリセンターありんこキッズ (放課後等デイサービス) | | |
| ○保護者評価実施期間 | 7年 3月 3日 | ～ | 7年 3月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) 45 | (回答者数) | 40 |
| ○従業者評価実施期間 | 7年 3月 3日 | ～ | 7年 3月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) 5 | (回答者数) | 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 7年 4月 1日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 生活空間の広いスペースがあり、ドッジボールやバドミントンなど球技を行える広い空間で、体を十分に動かすことができる。 | 球技をする時は仕切りのネットを使用して安全への配慮をしている。 部屋を活動内容に合わせて仕切りをして安全に配慮したり、視覚刺激を減らす工夫をしている。 同じ空間になった子ども同士で小集団活動や、個室があるのでその都度個別活動に切り替えることができる。 | 活動前にスタッフ間で使う部屋の打ち合わせをして、さらに安全に快適に部屋を遣えるようにする |
| 2 | 理学療法士等のリハビリスタッフを配置している。 各専門職がアセスメントを行い、的確に支援を実施している。 | 研修の機会を作り、支援の質を上げるように参加を促している。 多職種が連携が取れるように日頃から情報共有のコミュニケーションが取りやすい雰囲気である。 | より多くのスタッフが参加しやすいようなオンライン研修の案内をして参加を促す。 |
| 3 | 子育てカフェやペアレントトレーニングを実施して家族支援を行っている。 | 開催の案内をありんこLINEでその都度お知らせをしている。 | LINEだけでなく、お手紙や口頭でも参加の呼びかけをしていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | きょうだい支援 | 送迎サービスを利用しているのできょうだい同士が直接関わるのは難しい。 | 保護者面談等できょうだいについての話題にも触れて、アドバイスをしたり、子育てカフェの中でもきょうだいとの関係を取り上げていく |
| 2 | 事業所の取り組みを伝える | ホームページでの活動の掲載が現在ないので、ありんこを利用する保護者向けのLINEアカウントを作っている。ただ、全員登録していないことや閲覧しているかの把握が難しい。 | 保護者の方のありんこLINEの登録を確認をしていく |
| 3 | | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | リハビリセンターありんこキッズ (放課後等デイサービス) | | | | 公表日 | 7年 4月 1日 | |
|---------|------------------------------|--|-----|---------|--|---|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 2 | ・やりたい事がかぶって不足するときもあるが、時間を決めて交代するなど工夫している。 ・運動・机上活動ともに複数室用意があり、場・内容に合わせて使用できる。 | ・同時時間帯での個室が足りない時あり。 ・個室がもう一つ欲しい。面談で使うと足りない。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 3 | ・ペア・グループ等作り対応している。 ・個別に療育・集団療育に合わせて職員配置を対応できる。 | ・学校行事や家族の体調不良等で一時的に足りない時もある。 ・休みが出るとリハに入れない事がある。 ・送迎等を入れると何かあった時に困る気がする。 ・医療的に不安定な子どもおり、看護師がいると良い。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 1 | ・四つ違い移動やPCWでの移動が全室において行える。 | ・避難口が1か所しかないのは不安。 ・いろいろな物が目につきやすく、落ち着かない事も多い。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 1 | ・1と同様、毎日の清掃・消毒を実施している。 | ・机・椅子の高さが合わない子が多い。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | 1 | ・個室になるよう工夫している。 ・1と同様。 | ・面談が入ると個室足りないことがある。 ・もう1つ個室が欲しい。またはパーティションで仕切れるようになってほしい。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 1 | ・適宜実施。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | ・適宜実施。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | ・施設外療育後のふりかえりやミーティング、報告事由の共有を実施している。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 7 | | ・保護者向け評価を受ける。 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | | ・リモートを利用してできるだけ参加できるように調整している。 ・研修の周知・各自での受講及び共有。 | | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | ・ふりかえりの場を設けている。 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---|---|
| 適切な支援の提供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・リハ療育間で常に情報交換を行っている。 ・主に担当する職員・管理者などに行っている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・固定化しない様に行いつつ、不快感を与えないよう工夫する。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・教材・教員が充実していないため、個人で用意することがある。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングにて全体確認。必要に応じ連携する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎等で参加できない場合もある。 ・打ち合わせに参加できない事が多い（パート）。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 4 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当間や全体のふりかえり時間を設ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・できている時とできていない時がある。 ・雑談のようにするのみ、時間の確保がない。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・支援記録を取り、見直しを実施。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 7 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ボードに書いたり、写真カードを使って一緒に活動を考えている。 ・活動内容の話し合いや決定・特別な場面での自己紹介等にて自己決定する力を育てるよう療育をする。 ・教材・教員が充実していないため、個人で用意している。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ありんこ側からアプローチして訪問している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて担当者会議を開催して情報共有している。 ・新年度に学校等と連携、毎月の下校時間表を受け取ったりして調整している。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市の幼児教育課と連携して情報を提供している。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスの事業所があるためスムーズに移行しやすい。 ・情報提供の有無を保護者に確認している。 ・必要に応じて実施。今年度は対象となる児童がいないため行っていない。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 7 | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありんこ間で交流している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇など利用して行事等を通して交流できる機会を検討できるといい。 ・他事業所との交流の場を設けているが、地域の子供と活動する事はない。 ・ない。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 6 | 1 | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・担当から状況を聞き、送迎時等に保護者に伝えている。 ・面談で聞き取っている。 ・送迎時や保護者面談を適宜実施。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングを予定し、保護者に向けて告知する。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・本児・保護者の意向を確認している。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・同意を得ている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・子育てCafé等で交流されている。 ・年数回子育てカフェを開催して保護者同士の交流を図るように計画している。 ・子育てカフェを行っている。 ・保護者向けの場を設け、ペアレントトレーニングに内容を移行し、継続している。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・今の所ない。 ・ミーティングにて全体で確認する。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・LINEで行事の様子を流している。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | | |
| 非常時等の対応 | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。 | 5 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・会社全体でおまつりがある。 ・事業所ではなく会社全体でのフェスなど行っている。 ・会社での行事を実施し、事業所内でも案内を配布する。 | |
| | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携している。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に保護者から聞き取りをして職員間で確認している。 ・医師から支持を受けた保護者より伝達を受ける。必要に応じてエビベン講習に保護者と参加した。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理とし、毎月遊具等の点検をしている。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | | |

| | | | | | |
|----|--|---|--|--|--|
| 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束は行っていない。 ・今の所まだない。 ・衣服を脱ぐことのある児童に対し、同性の職員で個室対応をしつつ、異性の職員が入ることの無いよう徹底している。 | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| | |
|------|-----------------------------|
| 事業所名 | リハビリセンターありんこキッズ（放課後等デイサービス） |
|------|-----------------------------|

公表日 7年 4月 1日

利用児童数

45

回収数

40

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------------------------------|--|----|---------------|-----|-------|---|---------------------------------------|
| | | | | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 39 | 1 | | | ・（はい）個別の部屋があったり、広い部屋があったり自由に動き回れるスペースがあるので本人も楽しそう。 | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 37 | 3 | | | ・（はい）十分です。 ・（どちらともいえない）よく分からないため。 | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 40 | | | | ・（はい）分かりやすく、フラットなつくりなので、動きやすい。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 38 | 2 | | | ・（はい）物が少ないので、安全でキレイ。 | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 39 | 1 | | | ・（はい）連絡ノートなどで様子分かりやすく、こどもの特性に合わせて対応していただいている。 ・（はい）すごく感じます（毎月の実施記録） | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 35 | 2 | | 3 | ・（はい）計画的に行われていると思う。 | |
| | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 39 | 1 | | | ・（はい）面談や保護者の話を聞いて計画されていると思う。 | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 35 | 4 | | 1 | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 38 | 1 | | 1 | ・（はい）子供とその時の状況によって変わってくると思いますが、計画に沿った支援が行われていると思います。 ・（はい）本人の気分に合わせてもらえて助かります。 | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 35 | 2 | | 3 | | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 11 | 9 | 5 | 15 | ・（はい）夏休みになると地域の子どもたちとラジオ体操や行事を一緒に行っています。 ・（わからない）本人が他人にあまり興味がないので、学童でも1人遊びが多い。 | 祝日は屋外活動で地域の子どもと関わる機会を作ってLINE配信で伝えている。 |
| 保 護 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 37 | 1 | | 2 | ・（はい）利用するときに説明していただきました。 | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 40 | | | | ・（はい）利用するときに説明していただきました。 | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 29 | 5 | 2 | 4 | | 今年度ペアレントトレーニングを実施できたので継続していく |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。 | 36 | 3 | 1 | | ・（はい）面談・連絡ノートで伝え合っ理解している。 | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 38 | | 2 | | ・（はい）面談・連絡ノートで伝え合っ理解している。 | |

| | | | | | | | | |
|--------|---------|--|--|----|---|----|--|---|
| 者への説明等 | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 38 | 1 | | 1 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 17 | 9 | 2 | 12 | ・（はい）イベントなど、いろんな活動が増えている。 ・（はい）イベントは兄弟共に参加させてもらって楽しかった様です。 | 保護者支援の一つである子育てカフェの開催をしているので周知をさらにしていく |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 31 | 7 | 1 | 1 | ・（はい）相談事は聞いていただいています。 | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 38 | 1 | 1 | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 34 | 1 | | 5 | ・（はい）LINEありがたいです。 | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 38 | | | 2 | | |
| | 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 29 | 5 | | 6 | ・（はい）LINE等で訓練の写真が見れる。 ・（わからない）発生を想定した訓練が実施されているか分からない。 |
| 24 | | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 30 | 5 | | 5 | ・（はい）LINE等で訓練の写真が見れる。 | |
| 25 | | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 34 | 3 | | 3 | | |
| 26 | | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。 | 30 | 5 | | 5 | ・（わからない）そういう経験がないので分からない。 | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 40 | | | | ・（はい）嫌がらずに通えています。 ・（はい）子どもは毎回通所をととても楽しみにしています。先生方はいつも笑顔で子供と接して下さり、明るくてとても雰囲気の良い事業所です。 | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 40 | | | | ・（はい）その時の気持ちによりますが、楽しみにしている。 ・（はい）すごく楽しみにしています！！ ・（はい）とても楽しみにしています。 ・（はい）遊びの延長で取り組めていて毎週楽しみにしています。 ・（はい）子どもは毎回通所をととても楽しみにしています。先生方はいつも笑顔で子供と接して下さり、明るくてとても雰囲気の良い事業所です。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 39 | | | 1 | ・（はい）とても満足しています。 ・（はい）子どもは毎回通所をととても楽しみにしています。先生方はいつも笑顔で子供と接して下さり、明るくてとても雰囲気の良い事業所です。 | |

中核機能強化事業所加算公表

期間 令和6年12月～令和7年3月

公表日: 令和7年4月

リハビリセンターありんこキッズ

担当 西尾昌美

| | | |
|--|-------------------------------|---|
| ・市町村及び地域の関係機関との連携体制を確保していること | 令和7年2月 | ・中津川市社会福祉課と強化事業所の役割について 情報共有の会議実施 |
| | 令和7年2月 | ・中津川市自立支援協議会子ども支援部会出席 参加メンバーの確認 今後の部会の方向性を検討 |
| | 令和7年3月 | ・恵那市自立支援協議会こども部会出席 参加メンバーの確認 各機関の支援の現状について 今後の部会の方向性を検討 |
| ・専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制を確保していること | 令和6年12月～ 令和7年2月まで 計6回開催 | ・家族支援としてペアレントトレーニング実施 参加者10名 |
| | 令和7年3月 | ・子育てカフェの開催 参加者4名 保護者同士で子育て等に関する話合い |
| ・地域の障害児通所支援事業所との連携、インクルージョンの推進、早期の相談支援等の中核的な役割を果たす機能を有していること | 令和7年3月 | 恵那・中津川相談通所支援ネットワーク会議の開催 事務局 令和7年度年間計画 恵那市と中津川市の児童発達支援、放課後等デイサービス利用時の規定について |